令和○○年度　◆◆中学校　特別活動　全体計画（例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 生徒の実態 |  | 学校の教育目標　　豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な生徒の育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  | 保護者・地域の願い |
|  |  | （１）基礎的・基本的な知識及び技能を主体的に習得して、自分のものとして活用できる力の育成  （２）生徒自らが思考を広げたり深めたりしながら、新たな知識や価値を創造する力の育成  （３）学んだことを自分や生活との関わりで捉え、自分の生活や生き方に役立てようとする態度の育成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 特別活動の目標（学習指導要領） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  |
|  | 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。  (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。  (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。  (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 地域の実態 |  |  | 教職員の願い |
|  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 家庭・地域との連携 |  | 学級活動の目標 | | | | | | | | | 生徒会活動 | | | | | | | | 学校行事の目標 | | | | | | | | |  | 各教科等との関連  （各教科、道徳科、総合） |
|  |  | 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | | | | | | | | | 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | | | | | | | | 全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 | | | | | | | | |  |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  | 本年度の特別活動の重点目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  |
|  |  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |  |
|  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 各学年の目標 | | |
| 第１学年 | 第２学年 | 第３学年 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学級活動 | 生徒会活動 | 学校行事 |
| 指導方針 | 〇話合い活動等、小学校からの積み重ねや経験を生かす。  〇学習や生活の見通しを立て、振り返る教材を活用する。  〇学習指導要領に示された１１の内容を確実に実施する。進路学習や職業観・勤労観を養う学習は特に計画的に行う。 | 〇生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。  〇集団としての意見をまとめる等の話し合い活動を重視する。  〇自分たちできまりつくって守る活動を充実する。  〇人間関係を形成する力を養う活動を充実する。 | 〇総合的な学習の時間との棲み分けを明確にする。  〇行事の種類ごとに、行事及び内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図る。  〇体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表しあったりする活動を充実する。 |
| 内容及び留意点 | （１）学級や学校における生活づくりへの参画  ア学級や学校における生活上の諸問題の解決  イ学級内の組織づくりや役割の自覚  ウ学校における多様な集団の生活の向上  （２）日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  ア自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成  イ男女相互の理解と協力  ウ思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応  エ心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成  オ食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成  （３）一人一人のキャリア形成と自己実現  ア社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用  イ社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成  ウ主体的な進路の選択と将来設計 | （１）生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営  （２）学校行事への協力  　　新入生歓迎会、３年生を送る会の企画運営、地域の方々への学校行事招待状発送、体育祭生徒会種目の企画　など  （３）ボランティア活動などの社会参画  　　総合的な学習の時間との関連  各種委員会ごとに特色ある活動を企画し、取り組む | （１）儀式的行事  始業式、入学式、終業式、卒業式、終了式、離任式など  （２）文化的行事  新入生歓迎会、合唱コンクール、学習発表会、３年生を送る会、文化祭　など  （３）健康安全・体育的行事  薬物乱用防止教室、交通安全教室、身体測定、健康診断、避難訓練、体育祭など  （４）旅行･集団宿泊的行事  遠足、修学旅行、集団宿泊、野外活動　など  （５）勤労生産･奉仕的行事  職場体験活動、ボランティア活動　など  ★体育祭、合唱コンクールは練習時間を確保し、生徒の自主的な取組を促すようにする。  ★職場体験活動は、総合的な学習の時間との関連を図る。 |
| 時数・組織等 | |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 時数 | 内容（１） | 内容（２） | 内容（３） | | １年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 | | ２年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 | | ３年 | ○○時間 | ○○時間 | ○○時間 |   ※自発的、自治的な活動を重視する。  ※第１学年は人間関係づくり、ガイダンスの時間を重視する。  ※第３学年は進路指導の時間を重視する。  ※朝、帰りの会のミニ学級会は、時数にカウントしない。 | ※内容（３）の地域における〇〇施設でのボランティア活動の時間は、総合的な学習の時間の学習活動の中で探究的に行う。  ※生徒総会は年２回、生徒評議会、各種の委員会は月１回第２木曜日の放課後の定例会のほか、適宜開催する。  ※生徒会役員会は､生徒評議会、各種の委員会の定例会と同日開催のほか、適宜開催する。  ※全教師で指導に当たる。 | |  |  | | --- | --- | | 学年 | 時数 | | １　年 | ○○時間 | | ２　年 | ○○時間 | | ３　年 | ○○時間 |   ※職場体験活動は第２学年において実施。事前学習と事後の発表会は総合的な学習の時間の学習活動の中で行う。  ※全校行事は、全教師が協力して計画、実施する。  ※学年行事は､該当学年の教師が中心となって指導する。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 学級経営 | | | | | | | | | |  | 生徒指導 | | | | | | | | | |  | 進路指導 | | | | | | | | | |  | 学習の評価 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |  |  | | | | | | | | | |  | ・学級活動（３）の学習において、キャリア・ノートを計画的に活用する。 | | | | | | | | | |  | ・評価の観点を、  「集団や社会に参画するための知識・技能」  「協働してよりよい生活や人間関係を築くための思考・判断・表現」  「主体的に目標を立てて共によりよく生きようとする態度」  として、各内容の評価を行う。 | | | | | | | | | |